

科目名	ウィンドアンサンブルA(演習)		科目ナンバー	MU-MA1310		
担当者 (実務経験名)	特任教授 木下圭子(演奏家)					
履修期	専攻科 前期			卒業単位	選択 1単位	
免許・資格						
授業概要	学内・学外の演奏をすることによってアンサンブル能力を更に伸ばす。 アンサンブルに加わるものとしてのプロフェッショナルな意識を身につける。					
到達目標	知識・理解	配置、チューニング、バランス、指揮の見方、歌い方などを身につける。				
	思考・判断	各自が受け持つパートに責任を持って全体を聴き、アドバイスすることができる。				
	興味・意欲・態度	アンサンブル技術を更に向上させ、合奏に加わるものとしてプロフェッショナルな意識を育てることができる。				
	技能・表現	アンサンブルで表現することを各自考え体験することができる。 アンサンブルでのセクションのバランス感覚を身につけ瞬時にコントロールすることができる。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (分/日)
	1	ガイダンス、各自担当する楽器を決める、前期の選曲		楽器を準備しておく		1
	2	様々な楽器を試奏する(フルート)		フルートについて調べてくる。		1
	3	様々な楽器を試奏する(クラリネット)		クラリネットについて調べてくる。		1
	4	様々な楽器を試奏する(サクソフォン)		サクソフォンについて調べてくる。		1
	5	様々な楽器を試奏する(トランペット)		トランペットについて調べてくる。		1
	6	様々な楽器を試奏する(ホルン)		ホルンについて調べてくる。		1
	7	様々な楽器を試奏する(トロンボーン)		トロンボーンについて調べてくる。		1
	8	様々な楽器を試奏する(打楽器)		打楽器について調べてくる。		1
	9	アンサンブル基礎奏法1音合わせ		アンサンブル曲の練習をしておく。		1
	10	アンサンブル基礎奏法2ロングトーン		アンサンブル曲の練習をしておく。		1
	11	アンサンブル基礎奏法3ダイナミクス		アンサンブル曲の練習をしておく。		1
	12	アンサンブル基礎奏法4指揮の見方		アンサンブル曲の練習をしておく。		1
	13	アンサンブル基礎奏法5リズム		アンサンブル曲の練習をしておく。		1
	14	アンサンブル基礎奏法6表現法		アンサンブル曲の練習をしておく。		1
	15	前期アンサンブル まとめ		前期の復習をしておく。		1
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○	○		20%
	課題					
	実技	○	○		○	50%
	受講状況・態度			○		30%
	その他()					
フィードバックの方法	授業時に問題点、練習方法を口頭で伝える。演奏会終了後、反省会をする。					
教科書	学内にある楽譜					
参考書	無し					
アクティブ・ラーニング	複数の人数で、お互いの音(パート)を聴きながら合わせ演奏する事を学ぶアクティブラーニング。					
ICT活用	無し					
メッセージ・備考	吹奏楽経験者、吹奏楽指導経験者としての実績を活かし、アンサンブル技術や音楽表現、指揮の能力はこの授業を行います。 各自が受け持つパートに責任を持って出席をすること。 上級生としてセクション練習にも責任を持ち、まとめること					
関連科目	専修実技、ソルフェージュ、学内・学外演奏					